

ふりかえり交流会

2025年2月1日(土)

滋賀県

子ども県議会

事務局発行 / No.13



令和7年2月1日「ふりかえり交流会」を開催しました。この交流会は、子ども県議会後の取り組み状況や提案内容について、自由に意見交換を行うことを目的としています。午前の部では、子ども議員だけで久しぶりの再会を喜び合い、子ども県議会後に取り組んできたことや、今後挑戦したいことについて語り合いました。午後の部では、県の職員も加わり、子ども県議会での提案内容や、それを踏まえてさらに深めた考えについて意見交換を行いました。子ども議員にとっては、これまでの活動を振り返り、子ども県議会で伝えきれなかった思いや考えを県の職員に直接伝える貴重な機会となりました。一方、県の職員にとっても、子どもたちの率直な意見を聞くことで、より深い理解につながる有意義な場となりました。今後も、子どもと大人と一緒に考え、意見を交わす場を大切にしていきたいと思います。

はじまる前に!



午前中は、自分たちの提案文などを振り返り、お昼からどんな話をするかみんなで話し合いました。



司会や挨拶も子どもたちで誰がするかを、子どもたち自身で決めてもらいました。

県庁職員さんをお招きして、懇談スタート!



午後の意見交換会のはじまりの会では、進行やはじめの言葉も午前中に子どもたちが決めた子ども議員が行いました。10名の県庁職員さんがきてくださいました。みんなちょっと緊張しています。



子ども県議会当日に答弁した岸本副知事、福永教育長はじめ、一人ずつ自己紹介がありました。普段している仕事の内容をていねいに教えていただきました。



「琵琶湖・環境、農業」「子ども、学校・教育」「観光・魅力、伝統・文化・歴史」「公共交通」「人権多様性、居場所」の5つのグループに分かれ、1回目は子ども県議会で質問したこと、2回目は「滋賀県の未来」について意見交換を行いました。



みんなとても真剣に、時折和かに「どういう想いで作ったのか」「なんでそんなことを考えたのか」を話しました。また、子ども達から見える課題や県庁の職員さんから現状の課題の共有、問題提起をみんなで話し合いました。



各グループでの内容をみんなに共有しました。



最後に、岸本副知事から、お言葉をいただきました！

「ここが疑問だな」「ここがおかしいな」「こうの方がいいな」と思ったことを人に説明したり、発信したりすることを期待しています。ただ、文化や習慣、価値観が違う人がたくさんいます。でも、諦めるのではなく、お互いの目線に立って、相手の気持ちを考えて話すことも大切にしてください。

最後は、子どもたち・県庁職員さんと一緒に集合写真を撮りました。

今年の活動はこれで最後!

このふりかえり交流会で、今年度の子ども議員の活動は終了しました。子どもたちは、満足感・達成感でいっぱいのように見えました。これまでの活動を通じて考えたことや学んだことを大切に、よりよい滋賀県にするために、これからも共に考え行動してくれることを期待しています。

